

とうめい



さくら、さくら、さくら

上田城正門の桜は、一面に咲き満開にして見物客も昔を想う気持ちに慕っています。

フォトサークルA 角田 司郎

●目次

さくら、さくら、さくら	1P	かけはし ～登録医紹介～	6P
新年度 院長のご挨拶	2P	第2事業部 多機能型事業所「にじいろ」の紹介	
医療記事「美容外科とは」	3P	働く仲間	7P
リハビリ通信	4P	MYバレンタイン健診 実施報告 がん相談支援センター	
腎臓リハビリテーション			
特集 第5事業部	5P	ペットのはなし	8P
厚木市がん検診がとうめい厚木クリニックで すべて受診可能になります		編集後記 関連施設一覧	

新年度

院長のご挨拶



2022年4月より、先代院長を兼務していた野村理事長に代わり、東名厚木病院の院長に就任した北野義和です。この場を借りまして、皆様にご挨拶申し上げます。

現在、コロナ渦という特殊な状況も加わり、医療を取り巻く情勢は目紛しく変化しており、よりの確な判断を求められる中での院長就任という重責を託されたことは身の引き締まる思いがしております。

当院は開院以来、一貫して救急医療を中心に、地域の皆様に信頼され、そして頼られる病院を掲げて、地域医療に貢献し、日々精進してきました。その努力の結果、1998年には県下トップでの日本医療機能評価機構認定を取得し、2011年に地域医療支援病院に認可されました。そして、病院活動の継続のための医師の後進育成にも力を入れており、2003年に医師臨床研修指定機関病院に認

定され、2015年には臨床研修の舵取りであるとされる卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認定も取得しました。当院はさらに、この県央医療圏でのがん治療発展のために、2017年4号館新築と同時にリニアックを導入し放射線治療を開始し、さらに化学療法センターを開設し、がん治療に尽力を注いできました。そして、2020年3月、県央医療圏唯一となる「神奈川県がん診療連携指定病院」の指定を受けました。今後も、救急医療とがん治療は当院の重要な責務としてさらに精進したいと考えています。

こうした活動を支えるためには、多職種がそれぞれの立場を尊重し合いながら連携するチーム医療は必須です。職員というのはまさに病院の宝であり、長期的な視野に立った人材の育成は不可欠であると考えます。そして、患者さまに満足して頂くためには、職員にとっ

ても働きやすく充実した職場でなくてはなりません。各々が相互の信頼関係を持ち、意見を出し合いながら、病院発展していけるような環境作りが大切であると考えます。そして、万人がHappyになることを目指すことが、私の役割であると考えています。

また地域の急性期病院、地域医療支援病院としての役割を果たすためには、より親密な病院連携・病診連携を構築する必要があります。病院や診療所の諸先生方には、この場をお借りして感謝を申し上げます。皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上、長々となつてしまいました。挨拶とさせて頂きました。これからも当院の理念である、地域に信頼される病院、患者に愛される病院、そして誇りと責任を持てる病院を目指し、職員一丸となつて頑張つてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

美容外科とは

形成外科 ◆ 高梨 遼
草間 峻

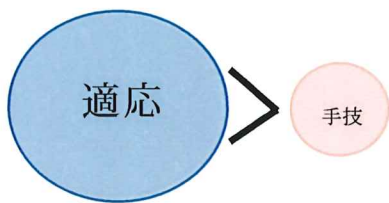
美容医療に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？美容外科は自費診療の一部であり、例えば保険診療外の抗がん剤治療や、歯科のインプラント等と同様の自費診療の一部ではありますが、健康な方に行う治療であるため、訴訟等がニュースで取り上げられる機会も少なくなく、マイナスイメージを持つている方も多いと思います。顔面の解剖的理解、適切な説明と適切な方法で行うことでより安心して行っていただけると考えております。

現在、形成外科では2022年4月から埋没法による重瞼形成、下眼瞼脱脂による下眼瞼の除皺術を開始する予定で、準備を進めております。

適応に関して

「広い二重にしたい」「人前に出るため、目の下のたるみが気になる」という方は多くいらっしゃると思います。美容外科に関して大切なことは適応と希望のバランスを見極めることと

考えております。例えばまぶたの脂肪が厚い場合においては、埋没法は外れやすく、せつかく受けた施術であつても元に戻るのが早く、満足のいく結果にならないことがあります。下眼瞼脱脂においても同様に適応があるため、外来診察時に適応があるか、また要望を伺いながら別な方法も含めて最適な方法をご提案致します。



埋没法について

埋没法は重瞼形成で最もポピュラーな方法で、元々は逆さまつげの治療のために形成外科、眼科などが行っ

ていた方法です。まぶたに小さく切開を加えた後、細い糸をかけることで、二重の幅の調節、一重から二重を作ることができます。糸を抜くことで元に戻すことができます。というメリットがあります。術後2週間程度は腫れが出ます、また、アイプチ等で重瞼線の跡が着いてしまっていた場合は、術前1週間程度は何もせず手術を行ったほうが、良い結果になりやすいです。



術前

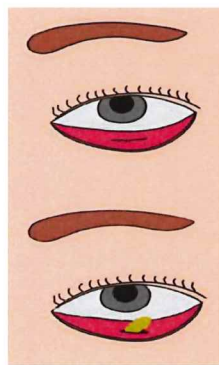


術後

下眼瞼脱脂について

聞き慣れない言葉かもしれませんが、目の下のたるみに対し行う方法で、目の下の安全な部分を切開し、

余剰な脂肪を切除する方法です。一度取り除いてしまった脂肪は戻らないため、過度に取りすぎてしまうと、凹んでしまいい元に戻せません、そのため控えめに切除し、気になるようであれば再度切除するか、別の方法を提案することがあります。



術後2週間程度腫脹が出現します、また皮下出血により一時的に下まぶたが変色します。

当科ではレーザーによる美容診療も行っているため、他にも希望があれば相談ください。



リハビリ通信 第59回 腎臓 リハビリテーション

腎臓リハビリテーションとは

腎臓リハビリテーションは、腎疾患や透析医療に基づく身体的・精神的影響を軽減させ、症状を調整し、生命予後を改善し、心理社会的ならびに職業的な状況を改善することを目的として、運動療法、食事療法と水分管理、薬物療法、教育、精神・心理的サポートを行う、長期にわたる包括的プログラム¹⁾、と定義されています。腎臓リハビリテーションの効果は、有酸素代謝能力の向上、心機能の改善、睡眠の質の改善や透析効率の改善などが報告されています。

現在、三思会の腎臓リハビリテーションの取り組みの中心は、透析中の運動療法です。普段から運動を行うことも非常に重要ですが、透析中に行うことも十分意義があります。

運動療法の内容について

三思会で提供している透析中の運動療法は、原則としてベッド上で行うことができる簡単な運動です。運動療法を実施する方の体力に合わせて、低負荷、高負荷の運動の動画を用意しています。そのほかにも、自宅の中で座ってまたは立つてできる運動の動画も作成

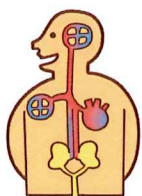
しました。現在は、インターネットに接続できる機器（パソコンやスマートフォン）を用いての閲覧のみです。閲覧してみたい方、体験してみたい方は下記のQRコードから閲覧してみてください。
実際に、運動療法を行っている患者さんからは「体力がついた気がする」や「疲れにくくなった」、「（透析中に）足がつかなくなった」などのご意見を伺うことができました。

さいごに

今回は、三思会でも新しい取り組みである透析患者さんに対する腎臓リハビリテーションを紹介しました。運動も重要ですが、食事をしっかり摂ることも、同じくらい重要です。運動と栄養の相乗効果で、より元気な体作りと日常生活動作能力の維持をしましょう。

参考文献

- 1) 上月正博：腎臓リハビリテーション、医歯薬出版株式会社、2012



三思会での腎臓リハビリテーションの取り組みは、昨年4月からとうめい綾瀬腎クリニックで始まりました。2022年2月現在、東名厚木病院、愛川クリニック、とうめい綾瀬腎クリニックの3施設で透析中に動画を用いた運動療法を提供しています。

透析患者さんは、週3回の透析による疲労感や倦怠感から、身体活動量が減少し、体力低下や筋力低下、それに伴う栄養状態の低下を引き起こすことが多いです。そのため、リハビリテーション実施による身体機能の維持・向上や日常生活動作能力の維持・向上が重要です。



リハビリ透析 運動療法

第5事業部

厚木市がん検診がとうめい厚木クリニックで
すべて受診可能になります

がんはいまや誰でもかかる病気です

国民の2人に1人が“がん”になり、3人に1人が“がん”で亡くなっている時代ですが、この2年間のコロナ禍で、がん検診を自粛された方も少なくないと思います。この6月から始まる令和4年度厚木市がん検診は、今年度からすべての種類のがん検診がとうめい厚木クリニックで受診可能になります。いつものかかりつけのクリニックで、定期受診のついでに、または合間を縫ってぜひご利用ください。

がん検診の有効性 早期発見で治癒率向上

厚生労働省では、がん検診の受診率を50%以上とすることを目標に、がん検診を推進してきました。同省では、がん検診の効果について評価を行い、科学的根拠に基づいて効果があるがん検診をお勧めしています。現在、胃、大腸、乳腺、子宮、肺、前立腺のがん検診が奨励され、こうしたがん検診が市町村の事業として行われるよう、指針（がん予防重点健康教育およびがん検診実施のための指針）を示しています。

厚木市は検診率が高い市町村です

厚生労働省のがん検診受診率等に関するワーキンググループ報告書の中で第2指標として示されている「対象者数＝市町村の住民全体」を基に算出した受診率（平成29年）を見てみますと、神奈川県は胃6.9% 大腸9.0% 肺9.1% 子宮13.5% 乳腺11.5%で、全国の中でも最下位に近い県となっています。県内の市町村別では、毎年清川村が1位で、厚木市も胃14.3% 大腸13.3% 肺15.6% 子宮15.2% 乳腺10.9と県内の市町村では比較的上位ですが、まだまだ乳腺などが低いようです。

70歳以上は無料です

厚木市では、がん検診の費用の多くを公費で負担しており、一部の自己負担でがん検診を受けることが出来ます。70歳以上では全種類のがん検診が無料です。施設検診の受診券は例年6月末に対象者に市から送られてきます。伊勢原市は、集団検診が基本ですが、乳がん、子宮がんは今年度より当クリニックでも受診できるように準備を進めています。

申し込みをスムーズに

昨年度までは申し込みはすべて電話でお受けしていましたが、今年度から当院ホームページから入力フォームで申し込みが出来るように準備を進めております。詳細は随時ホームページでご報告してまいります。



胃内視鏡は空腹で来て頂ければ、当日にすぐに検査できます

東名厚木病院消化器科の先生方、内視鏡室スタッフのご厚意で、胃がん検診に限らず、胃内視鏡希望の方は禁食で来て頂ければ当日に検査可能です。ただ、人数と検査時間枠に限りがありますので、できるだけ前日までにその旨の予約をして頂けるようお願いいたします。

かけはし 登録医紹介

伊勢原石田内科クリニック

vol.39

《所在地》

〒259-1114
神奈川県伊勢原市高森1325
TEL：0463-92-6771

当クリニックは、平成6年10月に、内科・消化器科を標榜して開院致しました。開院当初は、十分な設備がない状態でしたが、20年以上かけてすこしずつ設備を整えて、現在に至っています。

現在、医師は、私と潘先生の二人で、充実した機器と恵まれたスタッフのもとで、診療を行う事が出来るようになりました。

この間、東名厚木病院には、外来検査の受け入れ体制に大いに助けられて参りました。個人開業医と総合病院の連携は、通院される患者さんの診断や治療にとっても大切だと思います。今後も良い関係を保って、患者さんの為になるように連携を深めてゆきたいと思います。

当クリニックは、様々な検査を行っているため、待ち時間が長く、患者さんには、大変ご迷惑をかけておりますが、診察当日は、電話予約が可能ですので、このシステムのご利用をお願い申し上げます。

私も潘先生も専門が消化器内科であり、潘先生は、肝臓病学会の専門医でもあります。二人とも、内科の呼吸器や腎臓や循環器など他の内科の分野も研修をしておりますので、消化器では、気楽に受診できる専門クリニックであり、他分野では、専門医への紹介の窓口でもあるクリニックを目指しております。

今後とも患者さんの為に、良好な協力関係が出来ますよう願っております。



院長 中井 賢二

第2事業部

★ 多機能型事業所「にじいろ」の紹介★

当法人で障害者、障害児サービスを提供している事業所を紹介します。

事業所名は「にじいろ」といいます。場所は、厚木市戸室にある、マザーホーム戸室の1階に事業所があり、通所サービスと訪問サービスを提供しております。主に、日常的に医療的ケアが必要な重症心身障害のある方やお子様を対象です。

・児童発達支援…0歳から未就学児

- ・放課後等デイサービス…養護学校等就学の児童生徒
- ・生活介護…学校等卒業後、18歳以上の方
- ・訪問事業…主に日常的に医療管理、もしくは易感染性のため外出が困難な重度の障がいがあるお子様（0歳から養護学校等就学の児童生徒）

ご利用を希望される方は、お電話にてお問い合わせください（046-222-7772）



働<仲間

入職／平成31年4月1日
氏名／日笠 優香
栄養科



東名厚木病院栄養科に入職し3年目になりました。入職して初めの頃は、発注や食事変更などの給食業務から始まり覚えることも多く日々の業務に追われていましたが、先輩方に助けていただきながら少しずつ業務や職場の雰囲気にも慣れ、現在は栄養指導や入院している患者様の食事調整などを行っています。

私は食べることが大好きです。食べることは生きるために必要なことでもあります、なによりも楽しみでもあると考えています。

病院には疾患により食事制限のある方や嚥下機能が低下した方もいますが、皆様に食事を楽しみと感じていただけるように関わっていきたいと思っています。至らない点も多くありますが、今後ともご指導の程よろしくお願いたします。

入職／平成30年4月1日
氏名／梅澤 優唯
4号館4階病棟 看護師



私は看護学校を卒業し、1年目の頃から4号館4階病棟で勤務させて頂いています。日々変化のある自身の看護に対する気持ちや様々な患者様との出会いを大切に取組んでいます。

私は毎日勤務する前は自分が満足する身なりを整えてから出勤するよう取り組んでいます。自分と患者様を鏡のように想像して見たときに、患者様が自分より綺麗な状態で日々の勤務を終えたいと意識しているからです。疾病を抱えていても身なりを整えることや清潔であることは平等であると考えています。

4号館4階はチームに一体感があり医療的行為だけでなく清潔ケアにも力を入れています。また、スタッフ同士の声かけや他職種連携、患者様が自然に笑顔になれる雰囲気があることも魅力であると感じています。今後もチーム医療を意識し、少しでも患者様が安楽に入院生活を送れるよう取り組んでいきます。

がん相談支援センターだより

* 遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)について

HBOCとは乳がん、卵巣がんが発症する可能性を高める遺伝性疾患です。乳がんや卵巣がんの多くは遺伝する病気ではありません。しかし遺伝的な要因がはっきりしていて親から子に遺伝することのある「遺伝性のがん」があることも事実です。そのような遺伝性のがんは、乳がんや卵巣がん全体のうち約3-10%と言われています。

2020年4月から原因遺伝子の血液検査が保険で認められ(適応条件あり)、関心を持たれる患者さんも増えています。同じがん患者さんでも年齢や立場、考え方や価値観は異なり遺伝子検査に対する考え方もそれぞれです。

検査に関する疑問や質問がありましたら、お気軽に相談支援センターへご相談下さい。



MYバレンタイン

健診 実施報告

東名厚木メディカルサテライトクリニックでは、毎年2月に「MYバレンタイン健診」を開催しております。「MYバレンタイン健診」は、平日は仕事や家事、育児などで健診を受ける機会の少ない女性のため、毎年2月の日曜日に開催しており、乳がん(マンモグラフィーまたは乳腺エコー)、子宮頸がん、骨密度、血液検査(甲状腺検査)など、女性に多い病気の早期発見につながる検査をセットで受診できることが特徴です。また、当日は女性スタッフのみで対応し、より安心して受診できるよう配慮がなされています。

今年は2月13日に開催され、39名の方にご受診いただきました。アンケートでは、「マンモグラフィーと乳腺エコーの両方を受診でき、一日で気になるがん検診がすべて済ませることができるのでとても楽でした」「医師も女性の方で痛みもなく安心だった」などの回答をいただいております。今回の受診が2回目、3回目というリピーターの方が全体の半数以上ということからも、ご好評いただいていることが伺えます。

20代から60代まで幅広い年齢の方が受診されましたが、特に40代以上の方が多く受診されました。しかしながら、乳がん・子宮がんは若年齢層にも発症の可能性がありますので、知識を深めてもらえるよう資料をブースに配置し、若い方にも引き続き受診していただくよう啓発に取り組みました。気になってはいるけれど、忙しくてなかなか検査が・・・という女性の方も多いため、次回のMYバレンタイン健診は、ぜひ受診してみたいかがでしょうか。

編集後記



●今年も新入職員のフレッシュさに心洗われる時期がやってきました。初心忘るべからず、日々精進。(おちやがり)



●寒かった冬がようやく終わり、道端の花から春を感じることでパワーをもらっています。(すみれ)



●なんとこれはチョコレートです。可愛すぎて食べられません。(クッキー3)



●開花の時期と語呂合わせ(咲く... 3×9=27)から、3月27日は桜の日だそうです。ちなみに城の日は4月6日。こちらの理由はおそらくご想像の通りです。(里うさぎ)



●4月から息子が小学生になります☆どんなお兄さんになっていくのか、これからの成長が楽しみです。(バナ男)



●彩り豊かな花で春を感じます。ただスイーツも負けていません。八ツ橋パフェでっこりです♪(豆大福)



私の名前は佳花(けいか)です。家族に迎えてもらったときに庭の佳花(銀モクセイ)が満開だったからこの名前になりました。お家には18歳の桃太おじいちゃん、美尾(みお)おじさん、びいおじさん、柚おじさん、姫おばちゃん、蒼お兄ちゃんがいて私は7人目の家族になりました。

蒼(そら)お兄ちゃんは耳が垂れていますが、ふわふわ、もふもふして大好きです。(気が短くてすぐ怒られます。)

お家に来たときは片手にのっていた私も今は6人の先住さんより大きくなりました。毎日パパやママと食後の運動で遊んでダイエットに励んでいます。 K・N



もも



けいか



そら

各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756



●無料送迎バスを運行しています。

詳しくはホームページの無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>